

VDEC だより

2010年
7月15日
第5号

- ◆ 【重要】 VDECアカウントの年度ごとの更新のお願い
- ◆ 夏のCAD講習会を開催いたします
- ◆ NTTアドバンステクノロジー社 BiCMOS 0.35 μ m申し込み受付中
- ◆ VDECデザイナーズフォーラムを開催いたしました
- ◆ VDEC D2Tシンポジウム2010を開催いたしました
- ◆ VDEC-MOSIS試作プログラム申し込み開始

VDEC からの大事なお知らせです。

同じ内容は
<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/Tayori/>
にも掲載されています。



◆【重要】 VDECアカウントの年度ごとの更新のお願い

VDECのアカウントはCADの利用、チップ試作申込、設計規則へのアクセス等VDEC活動における重要な情報のやり取りに不可欠なものであり、チップ試作料金、守秘契約などその管理に注意を要するものです。従来、数年に一度パスワードを更新するのみでしたが、情報セキュリティの観点から、毎年のパスワードの更新とアカウント責任者の情報の更新が不可欠とのことで、このたび更新をお願いすることとなりました。

具体的には、7月下旬にVDECからアカウント更新に関するメールをアカウント責任者にお送りし、そのURLをクリックいただくことでパスワードの更新が行われるとともに、必要に応じてアカウント責任者の情報の更新入力を行っていただきます。8月末までに更新いただけない場合、その時点でアカウントを削除し以後VDECのWEBへのアクセス、CADの利用をいただけなくなりますので、ご注意ください。なお、更新期間中も通常通りVDECのご利用は継続いただけます。(池田 誠)

◆夏のCAD講習会を開催いたします

<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/CAD/CADTraining.html>

今年もVDEC CAD講習会を開催いたします。数回のテストを経て好評を得ておりますVDEC拠点校へのストリーミング配信を今回も実施いたします。今回のメニューはCadence社: IC61 FrontEnd (Schematic Editor, Analog Artist), IC61 BackEnd (Layout Editor), Synopsys社: Design Compiler, IC Compiler, TCAD

(検討中), Agilent社: Golden Gate, Mentor社: Calibre Interactive (検討中)。

また、東大のみでの開催になりますが、VDEC環境におけるトランジスタレベル設計講習会、デジタル設計講習会、SoC テスタ T2000 講習会も開催いたします。

ぜひCAD講習会を有効活用し、設計力の向上にお役立てください。(名倉 徹)

◆NTTアドバンステクノロジー社 BiCMOS 0.35 μ m申し込み受付中

http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/CHIP/NTTAT_explain.html

VDECでは、将来のVLSI技術の一つとして期待が高まっている、集積化MEMS技術についての全国共同試作支援を探索しています。その一環として、NTT-AT社、東工大益先生の協力のもと、0.35 μ m BiCMOSテクノロジーの試作を募集しています。テクノロジーには、高耐圧素子としてS-D耐圧20VのMOSトランジスタ(ゲート耐圧は5V)等が含まれており、他の相乗りチップが見えないようにブランピング処理をほどこした6インチウエーハ

3枚渡しという、VDECにとっては目新しい方式での頒布となります。

今回は、完全固定枠方式での募集となっており、十分な数の研究室が参加すれば試作実行となります。また、価格は申し込み研究室数の逆数に依存して変動します。5月より募集を開始していますが、7月末までメ切を延長してお待ちいたしますので、お早めのお申し込みをお願いいたします。担当: 三田吉郎 mita@vdec.u-tokyo.ac.jp

VDECデザイナーズフォーラムを開催いたしました

6/4(金)-6/6(日)、東大の武田ホールにおいてVDEC デザイナーズフォーラムが開催され、61人の参加者が気軽な雰囲気の中で交流をはかりました。フォーラムの前半は、VDEC スタッフによる「ローム 0.18um プロセス PDK」などのWorkshop や、NTT の門様、Analog Devices社のクリス様、東大の竹内先生を招いた特別講演を開催し、研究を進めるうえでの技術的・学術的に役立つ話を聞くことができました。また、フォーラムの後半は、学生発表講演、参加者によるショート講演、ポスターセッション、大学院の学生の立案による Ph.D. 企画セッションなど、試作経験やノウハウ、失敗談なども含めて、研究発表だけではなく普通の学会では聞けないような

話を聞くことができました。また、全学生講演の中から参加者による投票で選出する今年の最優秀発表は、東大の萬代さん「半導体っておもんないの？」が受賞しました。普通の学会とは一味違った、有意義で刺激的なフォーラムだったと思います。来年もたくさんの教員・学生の参加をよろしくお願いします。(名倉 徹)



VDEC D2Tシンポジウム2010を開催しました

<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/d2t/D2Tsymposium2010.html>

6月29日(火)に東京大学武田ホールにおいて、D2Tシンポジウム2010を開催致しました。今回で4回目となるシンポジウム開催で、朝10時から夜の懇親会まで、終日活発な議論、討論が行われました。

D2T寄附研究部門の活動報告に加え、K. Chakrabarty先生(Duke University)、安浦寛人先生(九州大学)、坂井修一先生(東京大学)、S. Mitra先生(Stanford University)、S. Blanton先生(CMU)、によってLSIのテストおよびディペンダビリティについての招待講演が行われました。また、夕刻には"Dependable VLSI Systems"と題したパネルディスカッションも行われ、大盛況の

うちに終了致しました。

今後も同様のD2Tシンポジウムを開催致しますので、奮って御参加頂けますよう、よろしく御願います。(小松 聡)



VDEC-MOSIS試作プログラム申込み開始

<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/CHIP/ChipSchedule.html>

昨年度に引き続き、今年度も、VDECを通して米国MOSIS社の試作サービスをVDECユーザの皆様提供準備が整いました。今年度の試作日程・価格は、ホームページの「チップ試作日程」からご覧になれます。

今年度は、VDECユーザの皆様のニーズを考慮し、

試作可能な最小区画面積を従来よりも小さくし、従来より低価格からの試作が可能となっております。本試作プログラムへの申込み、および、問合せはメールで松本(matsumoto@cad.t.u-tokyo.ac.jp)宛てにお願い致します。多くの皆様のお申込みをお待ちしております。(松本 剛史)

これからのチップ試作スケジュール

申込締切

2010/5/24
2010/7月
2010/7/5
2010/7/20

設計締切

2010/8/23
2010/9/29
2010/10/4
2010/10/18

試作ラン

ローム 0.18um
eShuttle 65nm
オンセミ 1.2um
ローム 0.18um
平成22年度第2回
平成22年10月シャトル
平成22年度第1回
平成22年度第3回

北海道大学 宮永研究室

北海道大学 大学院情報科学研究科 情報通信ネットワーク研究室
<http://csw.ist.hokudai.ac.jp/>

宮永研究室は高度情報化社会の進展において人に優しいシステム、通信や情報技術におけるシームレスシステム等、広い分野において様々な要求に適用できる「スマートインフォメディアシステム」の実現を目的として、無線通信システムと音声認識システムの2つを柱とした理論・方式から実用化まで多岐に渡る視点での研究開発を行っています。システムの実用化では実時間処理や低消費電力化が重要なキーファクターとなりますので、我々は考案した手法を実動作させることのできるシステムの試作・開発にも力を入れ、最近では、騒音環境に頑健な音声認識システムや1Gbps超の無線LANベースバンド処理MIMO-OFDM変復調器のデジタル回路設計開発を行っています。回路設計ではVDECのCADツールやチップ試作を利用させて頂いて、これまでにモトローラ1.2 μm 、ローム0.35 μm 、0.18 μm 、日立0.35 μm 、ASPLA90nm、TSMC0.25 μm の試作を行っています。

当研究室は、宮永教授、吉澤助教、コンスタンティン特任助教以下、学生・海外研修生を含め30名規模の体制で日夜研究に励んでおります。図の写真は、研究室メンバーとジンパ(ジンギスカンパーティの略、北海道大学名物)でして、研究室年中行事の一つです。北大キャンパス内ではジンパ用の敷地と後始末の炭入れが用意され、ジンパセットも販売しています。北大構内でジンパができるのは北大関係者のみですのでやってみたい方はご一報下さい。



VDECスタッフより…

みなさま、こんにちは。名倉徹です。

VDEC スタッフとして着任してから3年と4か月が経ちました。デザイナーズフォーラムやCAD講習会など、VDECの各種講習会を主に担当しています。VDECも設立してから15年が経ちまして、ユーザがVDECに求める内容も設立当初とは変わってきていると思います。VDECであんなセミナーやこんな講習会をやってほしい、という要望などありましたら、ご一報ください。

研究では、電源ノイズや信頼性の問題を扱ったり、RFの設計をしたり、一風変わったアナログ回路を作ってみたりと、手広くいろんな分野を手掛けています。

これらVDEC業務や研究の合間をぬって、研究室の学生達と毎日(とまではいきませんが)上野公園をランニングしています。趣味でバドミントンをしていてその体力作りとして始めたのですが、最近では東京マラソンに出場することを目標に頑張っています。

研究も勉強も最後の最後は体力勝負です。これから夏本番を迎えますが、夏バテなどしないよう、体力つけて研究に励みましょう。これからもよろしくお願いします。(名倉 徹)

